芦屋市のチョウと生物多様性（せいぶつたようせい）

芦屋市　市民生活部　環境課

生物多様性とは?

いろいろな特徴や違いをもつ,たくさんの生き物が,ほかの生き物や環境とつながりあいながら生活をしていることをいいます。

芦屋にも,いろいろな環境があり,それぞれの環境にあった生き物が住んでいて,それぞれがつながりをもっています。

公園

湿地

ブナ林

山

街路樹

川

海

砂浜

河川敷

この本は,芦屋で見ることができる,たくさんの種類のチョウを紹介して,芦屋のすばらしい自然と生物多様性について,身近に感じていただくことを目的として作りました。

チョウから分かる生物多様性

芦屋はたくさんのチョウをみることができます。

それは，六甲山が近いこと，芦屋川があること，道の横に木や花がたくさん植えてあること

花壇のある家がたくさんあって，いろいろな種類の植物が植えられていることと，チョウの成長の仕方に関係があります。

チョウの成長の仕方

チョウは植物の葉に卵を産んで，幼虫はその葉を食べて大きくなります。

成虫になったチョウは，花のみつなどをすって栄養をとります。

チョウの幼虫は，食べることができる葉が種類ごとに決まっているので，たくさんの種類の植物がはえていると，それだけたくさんのチョウが成長できることになります

芦屋市内でよく見かけるチョウ

東おたふく山や奥池町，ごろごろ岳山頂部，高座の滝といった北側では，オナガアゲハやカラスアゲハのような，大型のアゲハを見ることができます。

これらのチョウは，山から芦屋川に沿って降りてくるので，阪急電鉄芦屋川駅の北側付近でも見ることができます。

オナガアゲハ

カラスアゲハ